

意見活動

- a. 件名 地域経済の活性化支援について
- b. 提出先 千葉県知事
- c. 提出年月日 平成18年7月5日
- d. 内容の概要

要望1. 小規模事業者等に対する補助金について

千葉県経済は、景気の回復に明るさが広がりつつあるものの、その回復感は、地域や業種によりばらつきがあり、特に中小企業においては、未だ景気回復の広がりを実感するまでには至っておりません。

こうした中、各地商工会議所は、厳しい経営環境に直面する小規模事業者などに対し、経営改善普及事業を通じ経営基盤の強化を図るとともに、創業や経営革新に対する支援、街づくりをはじめとする地域振興事業など、多様で幅広い事業活動を行っております。

しかしながら、三位一体改革の進展や千葉県の逼迫する財政事情を反映し、ここ数年商工会議所が実施する小規模企業等活性化事業に対する補助金は、削減傾向にあります。

千葉県の経済を力強く再生させていくためには、地域経済発展の担い手である中小企業の活性化とその自助努力を支援するための諸施策を、総合的かつ積極的に推進していくことが非常に重要であります。

つきましては地域経済の牽引役である中小企業を支援・育成するという観点から、中小企業対策に関する予算につきまして、責任をもって十分かつ安定的に確保いただきたく要望いたします。

要望2. 金融事務ワンストップサービスの推進について

習志野商工会議所では、管内中小企業の経営基盤強化を図るため、中小企業相談窓口を設け、創業から経営革新支援、融資の斡旋支援までをワンストップサービスで提供しております。

しかしながら、斡旋しております融資制度のうち生活衛生関係融資（一般貸付）につきましては、生活衛生営業指導センター（県・生活衛生主管部局）より、千葉県知事の「推薦書」の交付を受けた後でなければ、国民生活金融公庫へ融資斡旋をすることができず、この形骸化した事務のためにワンストップサービス機能が阻害されております。

つきましては、生活衛生関係業種においても他の業種同様、県知事の「推薦書」が無くても借入れ申込みができますよう、引き続き厚生労働省に対し廃止の働きかけを要望いたします。

なお、制度の廃止が困難な場合には、ワンストップサービス機能の充実及び利用者の便宜を図るため、商工会議所においても生活衛生営業指導センター同様、千葉県知事の「推薦書」の交付申請事務が取り扱えるよう、お取り計らいいただきたく、併せて要望いたします。

要望3. 団塊の世代が有する熟練技能の円滑な継承について

製造業の現場においては、高度な技能や技術を修得するのに多大な時間がかかりますが、団塊の世代が一斉に定年退職時期を迎えます2007年より、これまで培われてきた熟練技能労働者の方々が持つ高度な技能やノウハウが、その退職とともに失われることが予想されます。

このため、人的にも時間的にも余裕がない中小企業においては、自社単独で技能継承を行うことに限界があることから、技能レベルの高い人材の一斉退職により技能継承が途絶え、事業活力の低下が懸念されるだけでなく、企業そのものの存続をも左右しかねません。

つきましては、ものづくりの現場において長年培ってきた熟練技能を将来に伝え、より多くの優れた人材を育成することを目的に、団塊の世代が有する熟練技能を社会財産として地域に還元できるよう、ものづくり人材育成塾など技能承継拠点の設置を要望いたします。

- a. 件名 習志野市の活力基盤の強化に向けた支援について
- b. 提出先 習志野市長
- c. 提出年月日 平成18年6月27日
- d. 内容の概要

要望1. 経営支援について

(1) 特別小口資金の利用促進

中小事業者の資金繰りの円滑化を支援するため、習志野市におかれましては、「融資制度」を設けておられますが、特に小規模事業者を対象としている「特別小口資金」につきましては、当所が取り扱っている「小企業等経営改善資金（マルケイ）」とほぼ同様の制度であり、利用度の高い融資制度でございます。

つきましては、その利用を促進することが、事業規模が零細で、担保力・信用力に乏しい小規模事業者に対する金融支援の観点から有効と考えられますので、制度の普及について要望いたします。

(2) 製造業における人材確保への支援

中小企業を取り巻く人材確保環境は、少子高齢化の進展による労働人口の減少やニート・フリーターに代表されるような若年層の労働意欲減退などにより、非常に厳しい状況でございます。

とりわけ、若手人材の確保が困難な中小製造業においては、社会問題となっているこれらの影響を直接受け、今後、深刻な若手労働力不足に陥ると予測されております。

加えて、団塊世代の大量退職などによる熟練技能の継承についても非常に危ぶまれておりますが、これらの状況を打開し、物づくり環境を確保するためには、次世代を担う優秀な若手人材の獲得が課題となっております。

つきましては、市内中小製造業の優秀な若手人材獲得を支援すべく、大学等へ働きかけを賜りますとともに、トライアル雇用（試行就業）制度、デュアルシステム等の施策の周知など、行政的な取り組みを要望いたします。

(3) 地場建設業の受注機会の確保及び創出

地場建設業等の活性化を目的に実施された公共施設の維持補修を主な内容とする「緊急地域経済対策事業」につきましては、厳しい財政事情の中で4年間実施していただきましたが、小規模企業の事業機会創出の観点から大きな成果があがったとして、業界からも感謝の声が多く寄せられました。

依然として厳しい経済環境下において、今後とも地場建設業の振興・育成の観点から、市内企業に対します公共事業受注機会の確保及び創出につきまして、ご高配を賜りたく要望いたします。

要望2. 習志野市施策の実現に向けて

(1) 産業振興基本条例の制定に伴う加入促進支援

他自治体に先駆けて制定された産業振興基本条例により、経済団体が行う経済活動に対する理解が深まり、おかげさまで商店会等への未加入事業者の加入促進において、一定の成果をあげることができました。

しかしながら、一部チェーン店・大型店においては、未だに商店会への加入を得られないばかりか、商店会街区にありながら商店会が維持・管理している街路灯電気料の負担や催事等の事業についても協力が得られない状況です。

当所におきましても、本条例の趣旨をご理解いただくべく未加入店・企業への働きかけを続けてまいりますが、習志野市におかれましても、入会の決定権をもつ未加入チェーン店本社に対しまして、再度要請を行うなど周知普及に向けた取り組みを要望いたします。

(2) 商店街活性化への支援

習志野市商店街活性化研究プログラム事業につきましては、地域コミュニティの核となる商店街の活性化に向けた取り組みとして、産学官の連携により実施していただきましたが、商店街に対する深いご理解により、本年度も事業の継続を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

本事業では、学生ならではの感性与バイタリティに溢れる活性化プランが数多く報告されており、今後の進展に大きな期待を寄せるところでございますが、習志野市の計画のもと、当所におきましても、商店会及び大学と連携を図りながら、活性化プランの実現に向けて協力してまいりますので、次年度以降も引き続きご支援を賜りたく要望いたします。

(3) 指定管理者制度における市内企業の評価

指定管理者制度につきましては、行政コスト縮減のみのために導入された制度ではなく、公共サービスを市場メカニズムに基づいた効率的で高品質なものへと変革することを目的として、行政、住民、民間企業のパートナーシップで支える制度であると伺っております。

制度を効果あらしめるものとするためには、自治体と地域、指定管理者の間の強固な協力関係の構築が求められるところであり、必要な管理能力を有する地元企業が指定管理者となるのが最善のことと考えますので、当所におきましては、研修機会を設ける等、住民サービスの向上と経費の縮減に貢献しうる経営力を備えた市内企業の育成に向けて取り組んでまいります。

つきましては、要望の趣旨をご賢察いただき、市内企業の育成及び事業機会創出の観点から、市内企業・団体であることを評価項目とする等のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

要望3. 地域問題について

(1) 京成津田沼駅前及びJR津田沼駅南口の空き商業施設への早期企業誘致

京成津田沼駅前のザ・クレストホテル津田沼跡施設への企業誘致につきましては、ご尽力をいただいているところでございますが、撤退からすでに4年が経過し、街づくりにおいて多大な障害となっております。

また、JR津田沼駅南口のダイエー津田沼店撤退後の問題につきましては、サンパデッキ自体の売却先が決定したとはいえ、具体的な後継テナント及び開店時期等が未

定であり、先行きが不透明な状況でございます。

このように、習志野市を代表する両駅前地区が空洞化している状況は、市民生活の利便性、経済面からの悪影響のみならず、対外的にも習志野市の大きなイメージ低下をもたらすものであり、一日も早い解決が待たれるところでございます。

つきましては、当該施設への企業及びテナント誘致に対しまして、早期の解決に向けてお取り組みを賜りたく要望いたします。

(2) JR新習志野駅への快速電車の停車

JR新習志野駅周辺を中心とする埋め立て地区は、習志野市のペアシティ構想の一角として開発が進められ、産業のみならず大学やスポーツ施設が立地するなど、習志野市の街づくりにおいて重要な役割を担っており、今後も大企業の進出が予定されるなど、ますます重要性を増しております。

しかしながら、JR新習志野駅につきましては、快速電車通過駅であり、立地企業の従業員をはじめ周辺住民の通勤及び生活に不便をきたしているのが現状でございます。加えて、通勤の便が悪いというイメージが、求人難の問題を招くなど、産業活力維持の観点からも弊害となっております。

つきましては、快速電車の停車は、同駅利用者の利便性の向上に資するほか、当該地区のみならず習志野市の地理的優位性を高めることとなり、都市基盤の強化を図る上で不可欠の要因となっておりますので、このことについて、今後とも強く働きかけをいただきたくお願い申し上げます。

(3) ワイガヤ通りのアーケードの老朽化対策

ワイガヤ通りアーケードの老朽化につきましては、安全面、景観面からも改善が急務と思われませんが、改修または撤去には多額の費用がかかるため、実施に至っていないのが現状でございます。

つきましては、商店街の買物環境整備及び駅前の賑わいイメージの形成のみならず、市民の安全で快適な歩行環境確保の観点からも、その改善が待たれるところであり、当該施設の老朽化対策に対しまして、引き続き支援を要望いたします。

要望4. 産学官連携事業への支援について

(1) インターンシップ事業への支援

当所におきましては、国家的な要請のもと、学生の職場体験を通じた職業能力開発及び就労意識の高揚を目的に、市内大学との連携によるインターンシップ事業を実施しております。

しかしながら、受入れ側にとっては、指導者の配置や生産ラインの一部停止など、少なからず経済的負担が強えられることから、現在、受入れ企業の確保が困難となっております。

つきましては、当所におきましても一層事業の普及に努めてまいります。インターンシップ事業の重要性を深くご認識いただき、受入れ企業の動機づけとなるよう、受入れに対する社会貢献を評価する表彰制度の創設など、政策面からの支援を要望いたします。

(2) ロボット産業育成への支援

現在、多くの製造現場で産業用ロボットが活躍しておりますが、医療・福祉、災害救助などの幅広い分野での活用が期待されるロボット産業は今後の基幹産業としての成長が予測されております。

このような折、千葉工業大学に新設された未来ロボティクス学科は、近未来を見据えた高度ロボットテクノロジーの研究開発やグローバルに活躍できるロボット技術者の育成を目的とした日本における未来技術のシンボリック的存在であります。

つきましては、大学との連携により、市内に新たな基幹産業を育成するという観点から、ロボット産業の育成・助成について、習志野市の産業戦略としてご検討いただきたく要望いたします。

要望5. 街づくりについて

(1) 歴史・文化資産を活用した地域おこし

NHKが総力をあげて取り組んでいる21世紀スペシャル大河「坂の上の雲」は、主人公の一人であり日本騎兵の父と呼ばれた秋山好古が旅団長として、大久保に置かれた騎兵第一旅団に赴任したことなど、騎兵の街と呼ばれた習志野市と非常にゆかりの深い歴史ドラマでございます。

大河ドラマの放映は、ゆかりの地域にとって歴史・文化などの資源を活用した地域おこしの格好の機会となることから、①総合的な推進窓口となる事務局の設置 ②旅団本部が置かれた郵便局跡施設の活用 ③観光文化資源の充実及び情報発信 についてご検討いただきたく要望いたします。

また、第1次世界大戦時に、習志野市にドイツ兵捕虜収容所が置かれたことから、当時から西洋音楽が住民に親しまれたほか、日本におけるドイツソーセージの起源が習志野市に見られることなど、歴史・文化を活かした街づくりを推進するための資産を有しておりますので、身近な歴史・文化資産を活用した地域おこしについてご検討いただきたく要望いたします。

(2) コミュニティバスの導入

公共交通は、安全で環境負荷の少ない移動手段として、必要不可欠な都市機能でございますが、南北の主要道路が少なく、かつ狭隘路が多い習志野市におきましては、高齢社会への対応の観点からも市内を縦断・循環する公共交通の整備が課題と思われ

ます。武蔵野市の「ムーバス」や浦安市の「おさんぽバス」などのコミュニティバスは、事業採算性や公共性の面から十分な評価を得るなど、一定の成果を上げておりますので、習志野市におかれましても高齢者など公共交通機関に頼らざるを得ない交通弱者へのサービスと商店街活性化の観点から、住宅地と市役所などの公共施設・医療施設・商店街・交通結節点などを循環するコミュニティバスの導入についてご検討いただきたく要望いたします。

(3) ハミングロード再生基本計画の実現促進

市内全域を結ぶハミングロードは、本市において極めて貴重な財産であり、緑豊かな都市環境の形成はもとより地域コミュニティの醸成やイベント開催による市民の交流拠点としても重要な位置づけにございますが、近年、施設の老朽化や緑道の美観損傷などが多く見受けられ、安全・防災の観点からも再整備の必要性が認められます。

つきましては、自然環境と調和した街づくりの観点から、平成26年度を整備目標とした「習志野市ハミングロード再生計画」の実現促進方について要望いたします。

(4) ごみ収集ステーションの整備による美化促進

文教住宅都市憲章を掲げる習志野市において、道路や下水道などの都市基盤のインフラ整備が進む一方で、都市イメージの形成を大きく左右する街の美化・景観整備に

については、今後の課題と思われます。

環境との共生による循環型街づくりの取り組みが各地で活発化する中で、環境を重視する習志野市におきましても、ごみの排出・処理の両面から快適な街づくりを促進するための取り組みがなされておりますが、都市イメージの観点から、街の美化の象徴としてごみの分別収集や整理に威力を発揮するごみ回収ボックスの設置等、ごみ収集ステーションの整備についてご検討をいただきたく要望いたします。